

# 保々中学校 第2学年 国語

## 1. なぜ国語を勉強するのか

- (1) 国語は、私たちが生活していく上で、日常のいたるところで使って暮らしています。人に、自分の気持ちを伝えたり、人の話を聞くことや文章を書いたりすることは、必ず日常のどこかで行われていることです。そのことを、場所や立場、どんな人かに応じて使い分けられることができるために「国語」を勉強します。そうして、社会で生活する上で、このように人に思いを伝えたり話を聞いたりする力を一層身につけることにより、多くに人とコミュニケーションをとることができます。「国語」の力を伸ばして、人とつながり、心の豊かな暮らしをおくることができます。
- また、国語の力は、どの教科でも、力を伸ばす基礎につながります。
- (2) 古典について
- 私たちは、多くの財産ともいえるべき優れた文章に出会う機会があります。ときに名作といわれる文章は、何年にも渡って、読み継がれているものです。そんな優れた名作を読み味わうために、今ではつかわれなくなった仮名遣いや読み方を学ぶのです。そこにまた新たな発見があるかもしれません。

## 2. 学習方法について

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャイムが鳴り終わるまでに授業の準備をして、着席しよう。</li> <li>・ 授業中は先生の話を中心して聞き、ノートなどをしっかり書こう。</li> <li>・ 黒板に書いたことはノートに正しく写し、自分で気付きたいことなども書き込もう。</li> <li>・ 授業では、積極的に発表しよう。</li> <li>・ 提出物は期日を守って出そう。また、再提出となったものも、必ず出そう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字の小テストのための勉強は、必ず家で宿題としてやっておこう。</li> <li>・ 授業で習ったところは、ワークなどを使って復習をしよう。</li> <li>・ 覚えた漢字は忘れないように、何度も書いて練習をしよう。</li> <li>・ いろいろなジャンルの本を読んでみよう。</li> <li>・ ワークやテストで間違えた問題は、必ず復習しよう。</li> </ul>

## 3. 評価について

	評価の観点	評価の方法
国語への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に取り組む姿勢が積極的である。</li> <li>・ 課題を提出し、それを整理することができる。</li> <li>・ 文字や文章に対して興味を持ち、意欲的に調べたり、書いたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・ 提出物、忘れ物の状況</li> <li>・ 小テストや定期テストなど</li> </ul>
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や場面に応じて、適切な言葉遣いで話することができる。また、相手の思いを聞き、内容を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の発表の様子</li> <li>・ スピーチ、話し合いなどの様子</li> <li>・ 定期テスト、聞き取りテストなど</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の思いを、さまざまな語句を使って表現することができる。分かりやすい文章を正しい言葉遣いで書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノート、プリント、作文など</li> <li>・ 定期テストなど</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな種類の文を読み、筆者の思いや、話の内容を正しく読み取り、それに対して、自分の感想や意見を持ち、表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノート、プリント</li> <li>・ 定期テストなど</li> <li>・ 音読の様子</li> </ul>
言語についての 知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字、表現技法、文法、文学史的な事項などを正しく覚え、それを活用する。</li> <li>・ いろいろな字体を覚え、毛筆、硬筆の書き方を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字小テスト</li> <li>・ 書写など</li> <li>・ 定期テストなど</li> </ul>
使用教材	教科書：国語2（光村図書）、新編：新しい書写 二・三年用（東京書籍） 補助教材：漢字練習ノート（とうほう） 国語のワーク（光村教育図書）、国語便覧（浜島書店）、すらすら基本文法（浜島書店）	

#### 4. 学習計画・評価規準

##### (1) 見えないだけ (4月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
言葉に込められた作者の思いを読み取り、心を込めて朗読しようとする。	他の生徒の朗読を聞いている。音量や抑揚などを工夫して朗読できるよう話し合える。	作者の思いや表現の特徴を踏まえ、詩の創作をしている。	特徴的な表現の効果やその意味を捉えながら、作品に込められた思いを読み取る。	語句や表現技法について関心を持ち、その意味や効果について調べる。

##### (2) アイスプラネット 要点を整理して聞き取る (4～5月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
学習の課題に沿って作品を読み、情景や登場人物の気持ちを想像する。	他の生徒の意見を聞いて要点をつかみ、自分の思いをあらわす。	作品に表れているものの見方や考え方について、感想を書く。	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。	登場人物の言動や心情を表す言葉に着目して、作品を読み進める。

##### (3) 枕草子 (5月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
「枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとする。	文体の特徴を生かし、「枕草子」の世界を楽しみながら朗読できるよう話し合い、それを聞くことができる。	自分なりに清少納言を真似て、四季の良いところを書く。	描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方について、読み取る。	枕草子の文体の特徴に気づく。

##### (4) 多様な方法で情報を集めよう (5月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
興味をもった事柄について積極的に情報を収集し、自分なりに考えをまとめようとする。	収集した情報を交流し合い、自分の考えの根拠をもとに話すことができる。	自分が収集した情報を、紙面構成を工夫しながら分かりやすくまとめる。	収集した情報を読み取り、効果的な資料を選択する。	相手や目的に応じて、文章の形態や展開の違いがあることを理解する。

##### (5) 生物が記録する科学 説明のしかたを工夫する (6月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
さまざまな説明のしかたに関心をもち、目的に応じて自分の表現に役立てようとする。	他の生徒の意見を聞き、自分の意見を工夫して伝えようとする。	伝えたいことが効果的に伝わるように、説明や具体例、描写を工夫して意見をまとめる。	文章構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉えさせる。	説明の中で使われるキーワードとなる語句や用語を理解する。

##### (6) メディアと上手に付き合うために 魅力的な提案をしよう (6月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
メディアについて興味をもち、付き合い方について考えを深める。グループのメンバーと協力して、分かりやすく魅力的な提案のしかたを考える。	聞き手の知りたいことを想定して集めた情報を整理し、写真や図を効果的に用い、論理的で分かりやすい構成で発表する。	分かりやすく魅力的な提案のしかたについて考え、発表のための原稿を作成することができる。	メディアとの付き合い方について書かれた文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。	情報に関するキーワードとなる語句や用語を理解する。メディアにより文章の形態や展開が違ってくることに気づく。

(7) 新しい短歌のために 短歌を味わう 言葉を比べよう 言葉の力 (7月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
短歌の形式や表現に興味をもち、その表現の美しさを味わおうとしている。言葉の微妙な違いに気づき、一つひとつの言葉を大切にしようとする。	言葉を大切にし、短歌の調子を意識して話し合い、聞くことができる。	学習した短歌の表現を参考にして、心情や情景が伝わるように、表現のしかたを工夫して短歌を作る。	語句の効果的な使い方や表現に即して情景や心情を創造し、短歌を読み味わう。	短歌や文章に使われている言葉の意味について深く考え、語感を磨く。短歌のきまりやその効果について正しく理解する。

(8) 文法・単語をどう分ける? 熟語の構成 類義語・対義語・多義語 (7月)

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・能力
言葉の決まりについて関心をもち、単語の分類について理解しようとする。熟語の構成や類義語・対義語・多義語について興味をもち、理解しようとする。	自立語の位置や語形、働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。熟語の主な構成と類義語・対義語・多義語について理解する。

(9) 世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 (7月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
興味をもって本文を読み、自分の興味関心に沿って、さまざまな本を読み広げようとする。	作品をお薦めする理由について、相手に伝えるように話すことができる。他の生徒の本紹介について、お薦めするポイントを聞き取ることができる。	作品をお薦めするにはどうしたらよいかを工夫して考え、文章にまとめる。	登場人物の言動の意味や展開、表現のしかたなどに着目して読み、作品に込められた思いを捉える。	抽象的な概念を表す語句など、本文中の語句について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。

(10) 盆土産 字のない葉書 (9月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
登場人物の人柄や心情を意欲的に読み取り、人間や家族、心のふれあいについて考える。	他の生徒の音読を聞いている。音量や抑揚などを工夫して朗読できるように話し合える。	読み取ったことをもとに、それぞれの家族について自分なりにまとめる。	登場人物の心情を表す語句を捉え、表現に即して優しさや温かさを読み味わわせる。	作品特有の語句の意味や語感を、文脈の中での確に捉えさせる。

(11) モアイは語る——地球の未来 (9月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
イースター島の出来事について、筆者が主張をしていることを読み取ろうとする。	まとめた文章を友達と交流して、内容を深めたり広げたりする。	身近な環境問題に対して関心をもち、具体的に、事実と取り組みを示して文章を書く。	前半部分の構成の工夫や、図や写真の効果的な使い方を意識しながら、文章内容を理解し、後半の筆者の主張との関係を考える。筆者の考え方に対する自分の考えをまとめる。	筆者が文章の形態や展開について、どのような工夫をしているか考える。

(12) 敬語 同じ訓・同じ音をもつ漢字 (9~10月)

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・能力
コミュニケーションにおける敬語の役割を理解しようとしている。国語辞典や漢和辞典を使い、その語の意味や音訓を調べる。	敬語には丁寧語・尊敬語・謙譲語があることを理解し、相手に応じて使い分けられる。それぞれの漢字の意味や音読み・訓読み注目し、文脈に応じて適切な使い方ができる。

## (13) 行書の流れをより整えて書こう(10月)

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・能力
手本をよく見て、行書の特徴をとらえる。	一年で取り組んだことをさらに進めて行書の筆の運びを工夫して書く。	漢字と漢字のつながりを理解する。

## (14) 平家物語「冒頭」「扇の的」 徒然草「仁和寺にある法師」(10月)

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・能力
「平家物語」の時代背景や人物などに興味を持つ。「徒然草」の表現に慣れ親しみ、内容について理解しようとしている。	作品の内容を理解して、場面の状況などを自分の言葉で説明できる。	自分の考えを文にまとめて述べる。	「平家物語」の冒頭部分の内容から当時の無常観という考え方について、感想をもつ。源氏や平家の違う考え方や思いを読み取れる。「徒然草」の表現を味わいながら、作者の考え方について、自分の感じ方と比較して感想をもつ。	対句や係り結びなどの古文特有の表現を理解する。

## (15) 漢詩の風景(11月)

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・能力
漢詩特有の言葉遣いや調子に親しみ、詩に描かれている情景を考えようとする。	漢詩特有の言葉遣いや調子を知り、その味わいを言葉にすることができる。	漢詩にこめられた心情を感想として文にまとめる。	漢詩独特の言い回しに慣れ親しみながら、漢詩の情景や人物の心情を想像する。	漢詩の形式や返り点などについて理解する。

## (16) 文法 走る。走らない。走ろうよ。「用言の活用」一字違いで大違い「付属語」(11月)

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・能力
規則的な語形変化に関心を持ち、用言の活用を理解しようとする。付属語について関心を持ち、働きと種類を理解しようとする。	活用形の種類と用言の活用の種類を理解する。助詞と助動詞について整理した内容を理解する。

## (17) 君は「最後の晩餐」を知っているか 相手の考えを踏まえて発言する 話し合って考えを広げよう(12月)

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・能力
筆者のものの見方や考え方が、どのようにあらわされているか読み取ろうとする。	他の生徒の意見を踏まえて考え、自分の考えをあらわそうとする。	作者の思いや文の要旨をまとめる。	筆者の着眼点や言葉の使い方、論理展開などに着目して読み、筆者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。	重要な役割をもつ抽象的な語句に着目し、どのような意味で使われているかを考えている。

## (18) 落葉松(12月)

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・能力
表現のしかたに着目して読み、詩を味わおうとする。	「落葉松」を声に出して読み、文語体の詩の響きを感じる。	詩の表現の特徴を踏まえ、感じたことを文にまとめる。	特徴的な表現の効果やその意味を捉えながら、作品に込められた思いを読み取る。	語句や表現技法について関心を持ち、その意味や効果について調べる。

(19) 走れメロス 表現のしかたを工夫して書こう (1月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
登場人物の行動や考え方について自分の考えをもととする。	他の生徒の意見を聞き、自分の思いをあらわそうとする。	メロスの心情の変化について、行動の順序に沿って整理し、ワークシートに工夫してまとめる。	登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」や「正義」に対する考え方と自分の考えをもつ。	難読な語句を読む。語句の意味を調べる。

(20) 科学はあなたの中にある (1月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
自分の知識や体験と照らし合わせながら文章を読み、科学について考えを深める姿勢を養う。	他の生徒の意見を聞き、自分の思いをあらわそうとする。	筆者の「科学」に対する見方や考え方について、知識や体験と結び付けて自分の考えをまとめる。	抽象的な語句に注意し、事例と筆者の主張との関係を考えて、内容を読み深める。	文章中の抽象的な語句の意味に注意し、語彙を広げる。

(21) 鍵 方言と共通語 送り仮名 (2月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
比喩や抽象的な表現に関心をもって、作品の内容を読み解こうとする。	他の生徒の意見を聞き、自分の思いをあらわそうとする。	詩に示されている作者のものの見方について、文章にまとめる。	抽象的表現や、描写のしかた、比喩に着目して詩を読み、作者の思いを捉える。	比喩や多義的な言葉の意味を捉え、言語感覚を磨く。方言と共通語の特徴を捉える。送り仮名について理解を深める。

(22) 小さな町のラジオ発 (3月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・能力
災害における情報の大切さを知り、災害について関心を広げる。	他の生徒の意見を聞き、自分の思いをあらわそうとする。	自分の考えを文にまとめて述べる。	文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	語句の効果的な使い方について理解を深めさせる。

(23) 「中学生のメッセージ」を書こう 意見文の説得力を考える 推敲して適切な文章に直す  
根拠を明確にして書こう 気持ちを込めて書こう (3月)

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語についての 知識・理解・能力
テーマとなる事柄についてふり返り、どのようにすればよりよい文章になるかをじっくり考える。	他の生徒の書いた作文を聞き、よりよい文章にするにはどうすればよいかを話し合う。	メッセージとして読み手に伝わるように工夫して構成し、自分の思いを作文としてまとめる。推敲して、よりよい文章に整え、清書する。	原稿用紙の使い方に留意し、言葉の使い方や主述の関係、文体を整えて文章を整える。